

看護部

14階病棟

- ①固定チームナーシングを充実させ、質の高い看護を提供する.
- ②教育支援システムを確立し、スタッフの知識・モチベーション向上を図る.
- ③マニュアルに沿った業務の遂行をし、安全な看護・療養環境を提供する

主に、血液内科・呼吸器内科・外科・婦人科の患者様が入院され、化学療法・放射線治療が行われており、血液内科では幹細胞移植（自家移植）を行っています。病床数は45床で、無菌室が5床あり、化学療法後、易感染状態となった患者様が入室されます。

がんに対する専門性の高い治療が行われており、看護師にはがん・薬剤に関する幅広い知識と技術の提供が求められます。病棟にはがん化学療法認定看護師・がん性疼痛看護師がおり、患者看護だけでなく、病棟スタッフへの教育が積極的に行われています。

今年度は、幹細胞移植看護の充実を目指し、がんセンターへの院外研修を行いました。スタッフへの知識の提供を行い、自分達が今まで行ってきた看護の振り返りと新しいケアを取り入れていく予定です。

看護体制は固定チームナーシング、継続受持ち制をとっており、入退院を繰り返しながら治療を続ける患者様に個別的・継続的な看護が提供できるよう日々努力しています。また、血液内科では多職種による全体回診・患者カンファレンスを週に1回実施し、情報共有と退院に向けて治療・看護のゴール設定を行い、患者様が1日でも早く退院できるようにしています。治療を受けながらも終末期に移行する患者様もおられ、今後は緩和ケアの充実に向けた取り組みを行っていきたいと思っています。